

環境経営レポート

2021年度（令和3年度）
（2021年4月～2022年3月）



2022年4月1日

株式会社 石井 建材 店

ごあいさつ

デジタル技術の発展や脱炭素社会実現に向け、弊社のような中小企業も対応が避けられません。これを負担と感ずるのかチャンスととらえるのか、事業者の力量が試されます。これから社会は大きく変わるでしょう。脱炭素社会へ向け、総論賛成各論反対は通用しなくなります。自らの事業活動からもたらされるCO₂の発生量をまず把握する。次に2050年カーボンニュートラルへ向け、目標値を設定し、行動計画を立てて事業を進める。企業であるため利益を上げることはもちろんであるが、CO₂の発生量を同時に抑える施策を立案できる業者が、サプライチェーンのグリーン化に不可欠になると信じ、弊社はエコアクション21に取り組みます。

弊社は、長年、産業廃棄物の処理に携わってきました。これからも地域・産業にとってなくてはならない存在を目指し、一步一步本業の深化を進めてまいります。

株式会社 石井建材店

環境経営方針

弊社は、産業廃棄物の収集運搬及び処分をおこなっております。

弊社の業界には今、高い技術力に裏打ちされた低コストで持続性のあるセキュリティーの高い物流・処理ネットワークが求められております。弊社の事業活動の如何によってもたらされる環境側面への影響は非常に重大です。いい加減では済まされないことを十分に慎重に再認識する必要があります。旧世代の処理システム「大量混合収集・大量埋立・大量焼却」から次世代の処理システム「小口分別回収・分散リサイクル」へと持続発展可能な処理モデルの確立を目指すため、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

上記の経営における課題とチャンスを踏まえ、弊社の産業廃棄物処理事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や弊社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 脱地球温暖化社会へ向けたCO₂の削減及び省エネルギー
 - ② 循環型社会のための廃棄物の削減（埋立・焼却の削減）
 - ③ 持続発展可能な施設運営を目指した省資源（節水）
 - ④ グリーン購入を促進する。
 - ⑤ 自らが提供するサービスの質的向上を目指します。
3. この環境方針を社内従業員に周知し、取引先及び近隣関係者に公表します。

制定日 2006年9月1日

改定日 2021年4月1日

代表取締役社長

石井 沖彦

□登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社 石井建材店
代表取締役社長 石井沖彦
- (2) 所在地
和歌山県有田市港町 793-24
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者：石井沖彦 TEL：0737-82-1303
- (4) 事業内容
産業廃棄物収集運搬業・中間処理業
- (5) 事業の規模
搬出量 収集運搬量：13,175 m³/年、中間処理量：10,279m³/年
従業員 9名
工場延べ床面積 1,500 m²

□過年度の主な環境負荷の実績

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	130,800	136,318	147,478	145,486	181,607	139,586
自社の一廃	kg	120	120	120	116	108	108
搬出量	m ³	9,773	10,561	12,549	11,747	13,365	13,175
水	m ³	193	155	186	173	247	512

□環境目標とその実績

当工場における環境目標と実績は次のとおりです。

項目	年度	2020年	2021年		2022年	2023年	2024年	
		(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /m ³)		11.5	19.0	11.1	19.0	19.0	19.0	
目標設定項目	電力の削減	使用量(事務所)(kWh)	3,738	5,227	3,906	5,221	5,195	5,179
		使用量(中間処理センター)(kWh/m ³)	0.13	0.33	0.08	0.33	0.33	0.33
	燃料の削減	中間処理センター(L/m ³)	0.79	1.65	0.75	1.64	1.64	1.63
		自動車(L/m ³)	2.92	3.87	2.62	3.86	3.85	3.84
	廃棄物の削減	廃棄物量(kg/年)	108	116	108	116	115	115
	埋立焼却縮減	埋立焼却率(%)	46.0	48.4	26.0	48.3	48.1	48.0
	グリーン購入	グリーン購入品項目 文房具、トラック用品	10	11	11	12	13	14
	自らが提供するサービスの質的向上	分別ラベルの現場への 掲示(現場)	14	15	15	16	17	18
水道水の削減	総排水量(m ³)	247	290	512	290	289	288	

注) CO₂等のm³は、産廃出荷量数値です。

CO₂排出係数 : 0.351 (kg-CO₂/kWh) 2020年関西電力調整後 (2020年度以降適用)

□環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取り組み

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
①電力の削減（事務所） ・昼休みの消灯 ・温度設定による対応	目標：5,227kWh 実績：3,906kWh 削減率：25%	達成されている。パソコンの電源を落とすなど継続していく。
②電力の削減（中間処理センター） ・インバータを使った省電力運転	目標：0.33kWh/ m ³ 実績：0.08kWh/m ³ 削減率：76%	達成されている。 投入のインターバルを効率的なものにし不稼働時間の短縮を検討する。
③燃料の削減（中間処理センター） ・アイドリングストップ運動 ・不必要なアクセル踏込を削減	目標：1.65L/m ³ 実績：0.75L/m ³ 削減率：55%	達成されている。重機のアイドリングストップなど今後も継続する。
④燃料の削減（自動車） ・アイドリングストップ運動 ・不必要なアクセル踏込を削減	目標：3.87L/m ³ 実績：2.62L/m ³ 削減率：32%	達成されている。今後も継続していく。
⑤一般廃棄物の削減 ・裏紙の使用 ・ミスコピーの防止 ・焼却→古紙回収へ	目標：116kg 実績：108kg 削減率：7%	達成された。 裏紙の使用も維持する。
⑥埋立焼却率の縮減 ・粗選別工程の高度化 ・精選別残渣の再生	目標：48.6% 実績：26.0% 削減率：47%	達成された。 効率的な粗選別が行われているためと判断されます。
⑦節水 ・節水運動	目標：290m ³ 実績：512m ³ 削減率：-77%	達成されていない。例年にくらべ粉じん発生抑制が必要な廃棄物が多く入荷し、水量が多くなったものであり、システム上の異常ではない。しかしながら、水道管の破裂等により無駄な出水にならないよう維持管理に努める。
⑧グリーン購入の推進 ・再生品の優先購入	目標：11項目 実績：11項目 達成率 100%	達成された。 再生品の販売動向にも注意し、拡大できるように情報収集しておく。
⑨自らが提供するサービスの質的向上 ・分別回収ボックスの普及啓蒙 ・分別ラベルの現場への掲示	目標：15現場 実績：15現場 達成率 100%	達成された。 顧客満足の向上にも寄与し、有効性ありと判断します。
<p>総括</p> <p>各取組が有効に機能しているといえる。しかし、弊社を取り巻く種々環境は日々変化しており、時代のニーズに則した目標設定も今後必要になる場合がある。環境負荷の削減と持続的な事業活動とのバランスを保った環境管理活動がますます必要になってくることをしっかり認識しておく必要がある。</p>		

②③④の m³ は、産業廃棄物出荷量です。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等	順守状況
和歌山県公害防止条例	ベルトコンベア	順守
大気汚染防止法（県公害防止条例）	選別施設(ベルトコンベア)	順守
騒音規制法（県公害防止条例）	破砕機、ふるい	順守
振動規制法（県公害防止条例）	破砕機、ふるい	順守
グリーン購入法	文房具等	順守
オフロード法	バックホウ等建設機械	順守
廃棄物処理法	適正処理やマニフェストの管理など 水銀含有廃棄物取扱の許可取得	順守

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、過去3年間にわたって関係機関より違反や指導等はなく、訴訟等もありませんでした。

□ 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

・環境経営方針

特に変更なし。

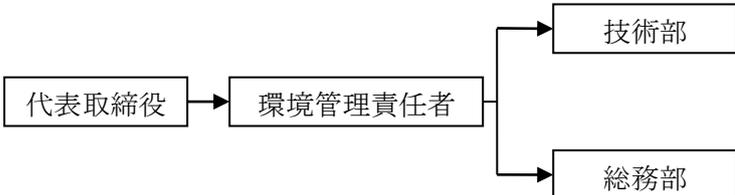
・環境目標及び活動計画

環境目標の意味とそれを実現するための手段（活動計画）について十分理解し、主体性をもって取り組むことを継続します。環境目標は、システムに大きな変更はないものの、年数も経過し、社会環境も変化していることから次回に見直します。

・環境経営システムの各要素

実施体制変更なし、そのほか現在のところ大きな変更や改善は必要としておりません。

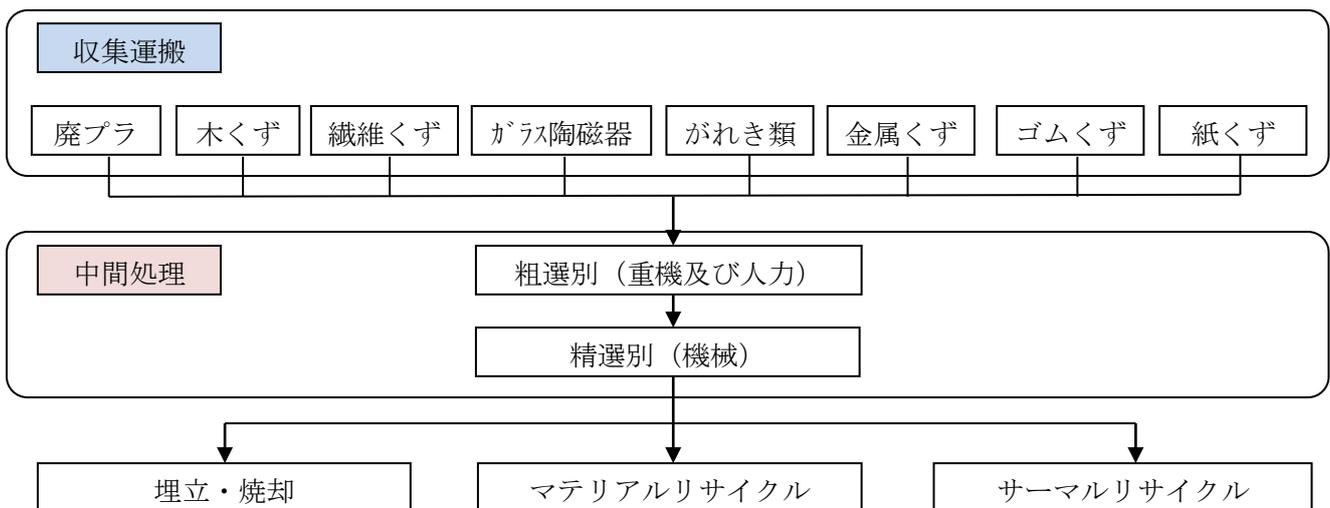
主要情報開示項目

産業廃棄物処理業者名	株式会社 石井建材店	
業者番号	034152	
住所	和歌山県有田市港町 793-24	
代表者氏名	代表取締役 石井沖彦	
法人設立年月日	平成 7 年 1 月 20 日	
名称、資本金及び事業の内容の変更履歴	名称 株式会社 石井建材店 資本金 1 0 0 0 万円 経歴 大正 1 0 年 石井回漕店創業 昭和 3 0 年 石井建材店に社名変更 平成 7 年 株式会社石井建材店に組織変更 平成 1 6 年 5 月 産業廃棄物処分業（中間処理）許可取得（和歌山県）	
許可の内容	事業計画の概要	弊社は、産業廃棄物の収集運搬（積替保管含む）・処分業（中間処理）を行っております。
	取扱廃棄物の種類	①廃プラスチック類、②紙くず、③木くず、④繊維くず、⑤ゴムくず ⑥金属くず、⑦ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、⑧がれき類 以上 8 品目（処分業） 汚泥、廃油（収集運搬業のみ）
	施設の種類	選別施設
	処理能力	1 8 0 m ³ /日
	保管容量	中間処理（保管容量 1,133m ³ 、保管高 3m） （収運積替保管容量 10m ³ 、積替保管面積 28m ² 、保管高 1m）
	最大積上げ高さ	3. 5 m
	保有施設	収集運搬
中間処理		0.45m ³ バックホウ 1 台 0.25m ³ バックホウ 1 台 0.1m ³ バックホウ 2 台 0.8m ³ タイヤショベル 1 台 2 t フォークリフト 2 台
売上高	150,000 千円（2021 年度）	
組織図	 <pre> graph LR A[代表取締役] --> B[環境管理責任者] B --> C[技術部] B --> D[総務部] </pre>	
処理実績	搬出量 収集運搬量：13,210m ³ /年、中間処理量：10,279 m ³ /年 (2021 年度)	

処理料金については、0737-82-1303 までご連絡ください。御見積りいたします。

許可内容一覧表

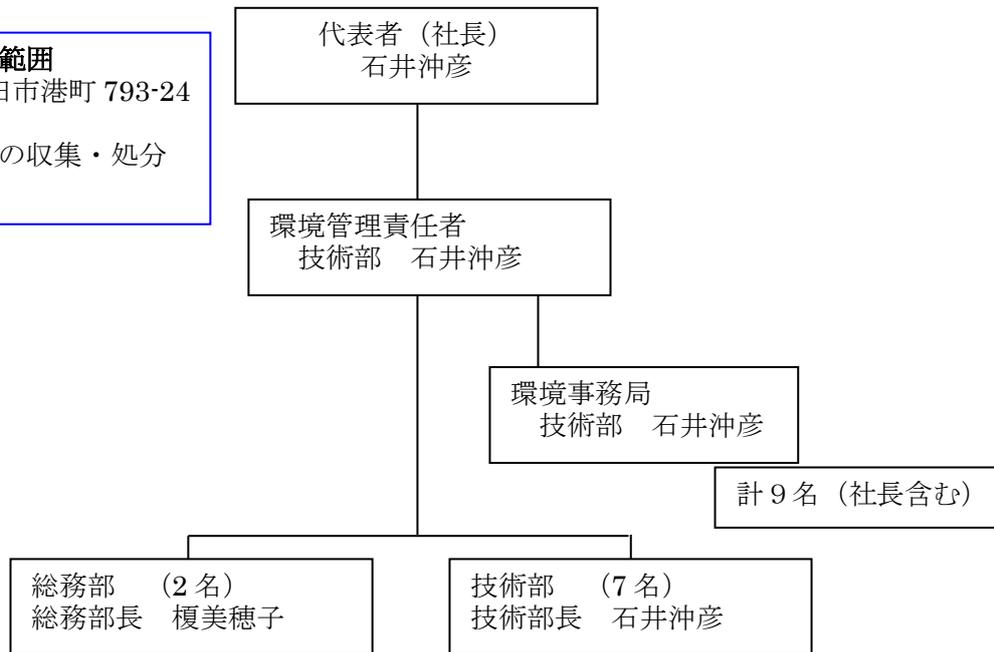
許可の種類	区分	産業廃棄物										許可期限 () 内新規許可日
		廃プラスチック類	汚泥	廃油	がれき類	ガラス陶磁器くず	木くず	金属くず	紙くず	ゴムくず	繊維くず	
都道府県市												
和歌山県 (第3024034152号) (優良認定)	中間処理 (選別)	○			○	○	○	○	○	○	○	H28.7.1 ~H35.5.17 (H16.5.18)
和歌山県 (第3014034512号) (優良認定)	収集運搬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H29.10.30 ~H36.10.29 (H7.10.30)
和歌山県 (第3014034512号) (優良認定)	積替保管	○			○	○	○	○	○	○	○	H29.10.30 ~H36.10.29 (H13.10.9)
大阪府 (第2700034512号)	収集運搬	○	○		○	○	○	○	○	○	○	R2.12.26 ~R7.12.25 (H7.12.26)
奈良県 (第2900034512号)	収集運搬	○	○		○	○	○	○	○	○	○	H28.3.29 ~H35.3.28 (H28.3.29)
兵庫県 (第2803034512号)	収集運搬	○	○		○	○	○	○	○	○	○	R1.8.14 ~R6.8.13 (H26.8.14)



処理フロー図

組 織 図

認証・登録の適用範囲
 住所:和歌山県有田市港町 793-24
 関連事業所:なし
 活動:産業廃棄物の収集・処分



担当	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間技能技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施し、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境活動実施計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長 (総務部、技術部)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加